

令和 7 年度 事業別行政経営計画書

所属名	議会事務局	予算科目	1-1-1-(2)
事業名	議会運営事業		

■基礎情報

目的	議会の円滑な運営を図ること
事務内容	・ 本会議、委員会、協議会の会議運営補助 ・ 会議録の作成 ・ 議員視察の対応 ・ 政務活動費の支出管理
現在における経過又は課題	（１）タブレットの更新とペーパーレス会議 会議運営及び事務の効率化を目的に平成 3 0 年 1 2 月定例会から、タブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを導入したことにより、職員の事務負担及び紙の使用量の削減に努めてきた。タブレット端末のOSサポートが令和 6 年度に終了することから、今年度議会活動が滞りなくできるように更新を行う。 （２）議場の音響設備 議場音響設備の老朽化に伴い、令和 6 年度にマイクやスピーカー等の設備全体を更新する議場音響設備更新工事を実施した。また動画配信については、放送設備操作室の窓にウェブカメラを設置し、貸し出し用の共有パソコンを用いて配信していたが、専用のカメラを議場の前方と後方に設けて、2 か所から配信できる方式に改めた。 （３）デジタル技術を活用した議会運営の推進 議会の円滑な運営を図るため、住民への情報発信の多様化や、議会に係る手続きについて、デジタル化を推進し活用する。
令和 7 年度の目標又は改善策	引き続きスムーズな議会運営が行えるよう議員のサポート等に努める。 音響設備について、令和 6 年度に更新をしたが、定期的に動作確認等を行い、議会運営に支障のないように努める。 議会に係る手続きについて、マイナポータル（ぴったりサービス）等、オンライン化にて対応できるよう、検討していく。

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第 6 章	持続可能な地域経営						
	基本政策	第 2 節	行財政経営						
成果指標									
	H26実績値	R1実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	R7目標値	

■3年間の目標

目標					
項 目（単位）	R5実績	R6実績	R7実績	R8目標	R9目標

■次年度以降の予定

議員一人ひとりの高度な知識向上のための研修の実施	
--------------------------	--

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
8 月	議員研修の開催

■目標又は改善策に対する取組内容

・OSサポートの終了に伴うタブレット端末の更新は、新タブレット端末の取扱いに慣れてもらうため、旧タブレット端末を併用できる期間を設け、議員の議会活動に支障のないように実施した。 ・議場の音響設備は、昨年度に引き続き、本会議開会の前日にマイクの音声テストをする等、事前に動作確認を行い、会議当日の録音に支障のないように努めた。 ・令和7年度は、議会のオンラインによる会議が可能となるような仕組みを検討し、大口町議会委員会条例等、関係規定の一部改正を行ったが、議会に係る手続きに関するオンライン化の対応に関する検討までには至らなかった。
--

■評価

・OSサポートの終了に伴うタブレット端末の更新は、新端末と旧端末を併用する期間を設けたことで、定例会や委員会といった議会活動では、特に支障なく運用することができた。 ・音響設備について定例会や委員会では支障なくすすめることができた。 ・デジタル技術を活用した議会運営について、議会に係る手続きのデジタル化推進を実施することができなかった。 ・令和7年度は、まずは議会のオンラインによる会議が可能となるような仕組みを関係規定に定めることができた。議会に係る手続きのオンライン化に関しては、各種手続きに電子申請の流れがあることから、引き続き検討していく必要がある。

令和7年度 事業別行政経営計画書

所属名	議会事務局	予算科目	1-1-1-(4)
事業名	議会広聴広報事業		

■基礎情報

目的	町政に係る重要な情報を議会独自の視点で住民に周知し、多様な広報手段で、より多くの住民が議会と町政に関心を持つように努めること。
事務内容	・議会広報誌「おおぐち議会だより」の編集及び発行 ・議会報告会、意見交換会の開催 ・議会ウェブサイトの更新 ・本会議のライブ中継
現在における経過又は課題	広報活動では、全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会への視察のほか、雑誌編集等の専門家が講師を務めるクリニックにおいて指導を受け、より多くの住民に手に取って読んでもらえる広報誌づくりに取り組んでいる。また、令和5年度の議員改選を経て構成された議会広聴広報常任委員会より、議員自らが積極的に取材を行い、レイアウトから誌面の内容・校正まで行っており、令和6年10月号では、20ページ内2ページカラーの構成から全ページカラー16ページに変更し、より見やすく、充実した内容で作成することができた。 令和6年度ふれあいまつりでは、町民のみなさんの大口町議会と議会だよりへの関心度を調査するために、アンケートを行ったが、回答者の年齢層が60代以上が半数以上を占めており、より多くの世代からの意見を聞くことができなかった。 広聴活動は、コロナ禍を経て、6年ぶりに議会報告会を実施した。3部構成により、総務建設常任委員会、文教福祉常任委員会で、各委員会の今年度のテーマに則った活動報告に始まり、防災講座、最後は議員と直接対話できる座談会を行った。参加者の年齢層については、ふれあいまつりでのアンケート同様、60代以上が半数以上を占めており、より幅広い年齢層、特に若い世代の参加促進のため、開催日程を含め、企画段階にて検討する必要がある。
令和7年度の目標又は改善策	全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会等への視察のほか、どのようにすれば多くの住民に議会だよりを読んでもらえるようになるかを学び「読み手にとってわかりやすい」誌面づくりに取り組む。 また、ページ数に空きが生じ、新たに特集を企画する場合には、デザイン制作、ページ内構成、割付けについては、専門家に委託し作成してもらう方法を検討していく。

■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営						
	基本政策	第3節	情報発信・共有						
成果指標									
	H26実績値	R1実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	R7目標値	

■3年間の目標

目標	議会だよりの満足度の向上					
項 目（単位）		R5実績	R6実績	R7実績	R8目標	R9目標

■次年度以降の予定

広報に関する研修の受講や他議会の広報誌の検証	
------------------------	--

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
7～8月 10月	議会広報クリニック（愛知県町村議会議長会主催）への参加 町村議会広報研修会への参加、先進地視察研修の実施

■目標又は改善策に対する取組内容

・議会広聴広報常任委員会の委員が代わったため、令和7年8月に開催された町村議会広報クリニックに参加し、議会だよりの編集内容に関し、専門家の評価や助言を受けた。 ・議会だよりの誌面は、必要に応じ、デザイン制作やページ内の構成、割付けを専門家に委託できるように準備したが、年間を通し、議員により一連の作業を行ったため、委託するには至らなかったが、新たな取組として、表紙写真の公募を行った。 ・令和7年度もふれあいまつりに出展し、住民に対するアンケート調査を実施した。その後の意見交換会は、このアンケートをもとにテーマを決めて開催し、住民からのニーズや大口町の将来像に関する考えや意見を伺った。
--

■評価

・町村議会広報クリニックでは、議会広報の持つ役割や意味、広報づくりに必要な基本事項を議員が再確認することができ、議会だよりの講評に関しては、全体的には専門家から高評価をいただくことができた。 ・議会だよりは、誌面に一定の評価を受ける中、その編集方法を継続しながら、新たな取組にも挑戦し、より住民に身近な議会だよりにしていく必要がある。 ・ふれあいまつりでのアンケート調査の結果から、住民の意見をもとにテーマを決め、意見交換会を開催したことで、今後の議会活動に活かすことができた。
